

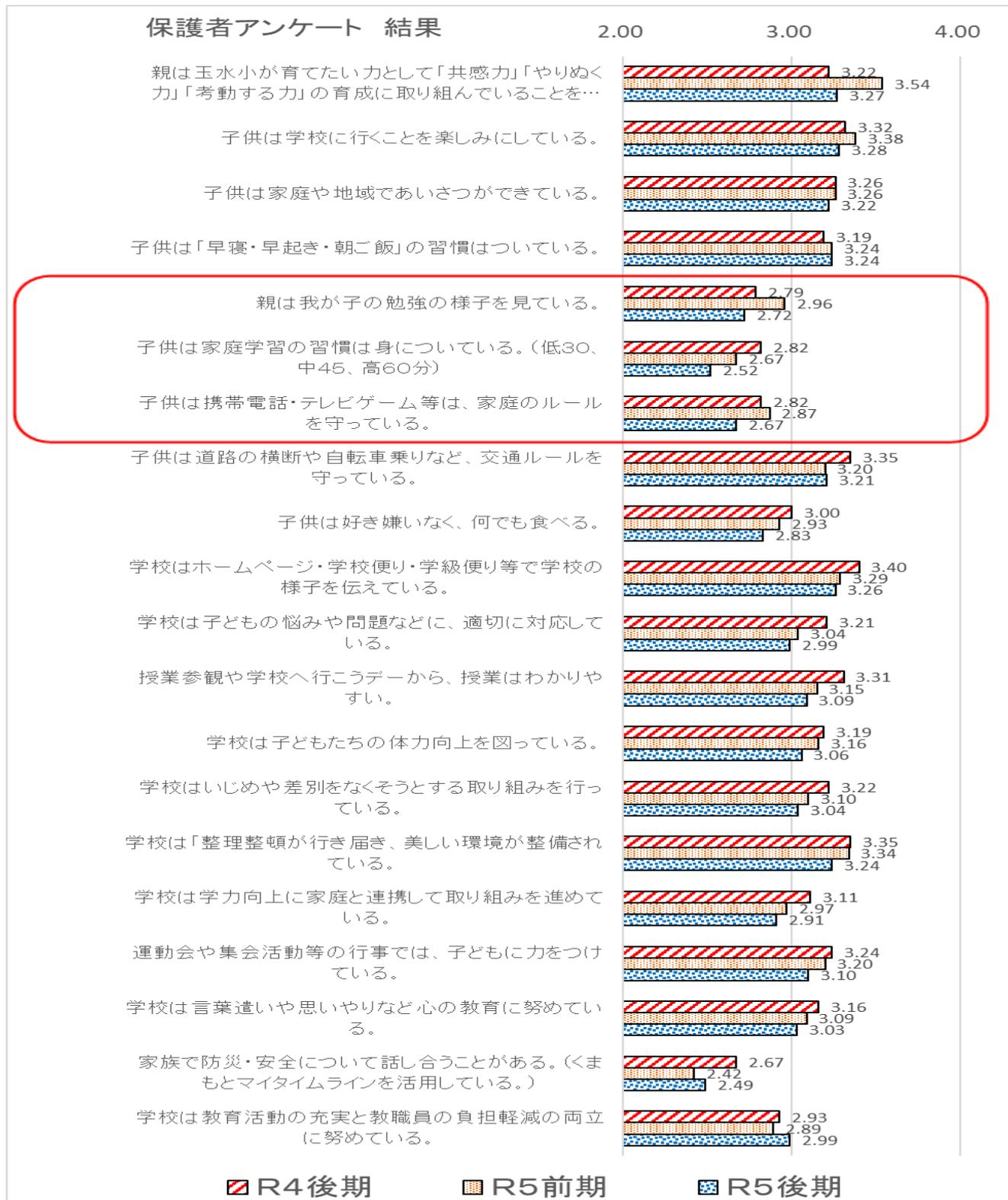
保護者様

玉名市立玉水小学校  
校長 西村 英一

## 保護者アンケート結果のお知らせ

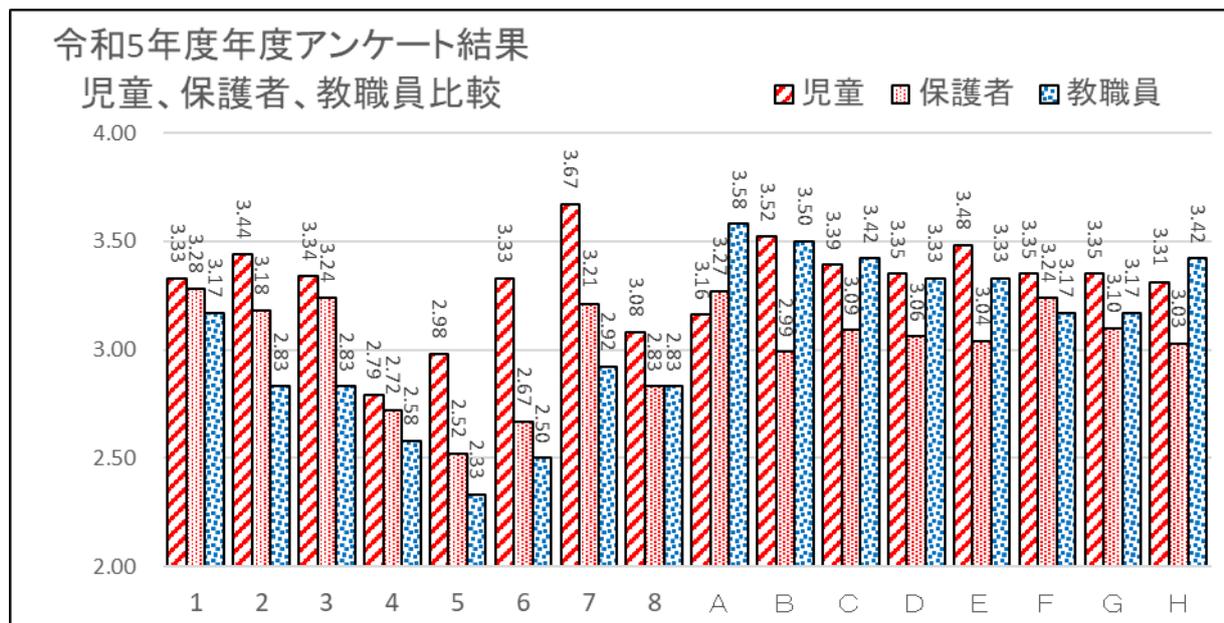
早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。

さて、後期にお願いしましたアンケートの集計が整いましたので、皆様にお知らせいたします。貴重な資料として今後の取組に活かしていきたいと考えております。今後とも保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



厳しい結果となった項目は  枠で囲みました。これらの項目につきましては前期でも課題となっている項目です。短い時間でもかまいませんので、子どもたちの家庭学習の様子を見ていただくと、子どもたちも励みになると思います。学校でも、「家庭学習の大切さ」について粘り強く伝えていきます。

しかしながら、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣について、改善傾向にあります。今年度も、メディアコントロールや生活リズムを整えることの大切さを折に触れて伝えてきました。生活習慣の改善が家庭学習の充実につながると思います。これからも家庭と学校が連携した取組を続けていきます。



1 学校に行くのが楽しい。	A 「共感力」「やりぬく力」「考動する力」が身に付くことを目指して勉強や運動、行事などに取り組んでいる。(3つの力を知っている)
2 家庭や地域であいさつができています。	B 先生は、悩みを聞いたり問題に対応したりしてくれる。
3 「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣がついている。	C 毎日の授業は、よく理解できる。
4 家の人は、勉強の様子を見してくれる。	D 学校の活動で、体力向上につながっている。
5 家庭学習の習慣が身についている。(低30、中45、高60分)	E 学校では、いじめや差別をなくす取組を行っている。
6 携帯電話やゲームは、家庭のルールを守っている。	F 学校は、整理整頓が行き届き、環境が整備されている。
7 道路の横断や自転車乗りなど、交通ルールを守っている。	G 学校の行事に取り組むことで育てたい力が高まっている。
8 好き嫌いなく、何でも食べることができる。	H 学校での取組で言葉遣いがよくなり思いやりなど心が育っている。

上は、同じ項目で児童と保護者、教職員のアンケートを比較したグラフです。1～8が家庭生活、A～Hが学校生活に関する内容です。

全体的に家庭生活面で保護者・教職員が厳しい評価をしていました。特に児童・保護者・教職員の点数に開きがあったのは5と6で「家庭学習の習慣」「携帯電話等のルールを守る」でした。学校でも課題となりました項目について継続して指導していきます。保護者の皆様とも連携して取組んでいけたらと思います。

最後に、記述での御意見もいただきました。いただいたご意見につきましては、全職員で共有し、改善に努めます。